

power  
S R A M L E  
C M E B B

## ■ インチョン・アジア パラリンピック合宿

報告：吉田寿子

9月20日より、韓国インチョンで、アジア選手権（アジアオリンピック）が開催されている。これに続き、10月18日より、同じ会場で、アジアパラリンピック大会が開催される。日本選手団は、選手約300名、役員約200名の合計500人を韓国に送る。パワーリフティングからも、選手10名、役員4名が選ばれ、日本代表として韓国入りする。それに先立ち、9月6日、東京のパワーハウスで、合宿を開催し、コーチは選手の力量を観察し、選手は、ウェサカさんの提供を受けて、試合で使用するバーで練習を行い、使用感の感触を確かめた。メダル候補のひとりでもある、88kg級に参加する大堂選手は、軽く200kgを押していたが、インチョンでは205～210kgを目指したいと抱負を語っていた。また、JPC公認コーチでもある、篠田コーチからは、過去の選手の全データをまとめ、体重調整、どれくらいの記録をインチョンで目指すか、などの、話があった。

インチョンは、目標ではなく、リオパラリンピックや、東京パラリンピックにパフォーマンスの頂点をもていきたい、ということで、長期計画からみたインチョンでの目標の立て方の大切さが強調された。また、選手一人一人の試技時における、選手のくせ、注意点なども、コーチはしっかり観察し、インチョンに向けて、好結果が出る条件を整えた。



写真上：200kgを押す大堂選手

写真左：コーチから各選手

power  
SCRAMBLE

■ パワーリフティング  
ポスター出来上がる

■ 沖縄新聞

資料提供：盛 龍也

6月に富山で開催された全日本選手権で沖縄出身の選手の照屋選手（デッドリフトでは日本新記録を樹立）、瑞慶覧選手（沖縄県のベンチ新記録）の活躍が、沖縄の新聞に大きく報道された。新聞記事をお送りいただき、感謝申し上げます。



女子84kg級で優勝した照屋利恵のスクワット

## 照屋

(子級) 女 84kg

# DL日本新

男子66kg級で5位入賞した瑞慶覧勇輝のベンチプレス

## 瑞慶覧

(子級) 男 66kg

# BP県新

**パワーリフティング**

43回男子・第38回女子全日本選手権が6月21、22日に富山県の富山総合体育セン

ターであり、女子84kg級の照屋利恵 (POWERSSPORT) がデッドリフト (DL) で155kgの日本新記録を樹立して3連覇した。照屋は通算5度目の栄冠。男子66kg級では瑞慶覧勇輝 (同) がベンチプレス (BP) で190kgの県新記録を挙げ、5位入賞した。

【男子】

▽59kg級 ⑩伊着洋浩之 (PO WERSUPPORT) トータル420kg (スクワット100kg、ベンチプレ

ス145kg、デッドリフト175kg)

▽66kg級 ⑤瑞慶覧勇輝 (PO WERSUPPORT) 635kg (151kg、100kg、280kg)

【女子】

▽84kg級 ①照屋利恵 (PO WERSUPPORT) 460kg (175kg、130kg、155kg) (日本新)

# power SCRAMBLE

## ■ 2020年東京パラリンピックに向けての次世代発掘事業施

8月23日は東京都障害者総合スポーツセンターで、8月30日は神戸のオーゼスポーツ神戸福祉スポーツセンターで、「めざせパラリンピック！」という、次世代を担う選手の発掘事業が日本パラリンピック委員会主催で開催された。参加者は、どのような行事になるのか興味津々でその行方を見守ったが、20

歳以下の大変たくさんの方々がパワーリフティングを体験し、自分もパワーリフティングをしてみたい、という声が多々聞かれ、今後共こういう行事にはぜひ参加させていただきたいと、発掘事業の効果を認識させられた。

(特定非営利活動法人日本ディスエイブル・パワーリフティング連盟報告)



写真：デモンストレーション用のバーベル一式をウエサカさんから貸出していただき、初心者も子供もパワーリフティングを体験した。

